

静岡県

土地改良

No.

478

2026.9



水土里ネット静岡

| 静岡県土地改良事業団体連合会 |

目

次

■ 令和 8 年度 第 1 回 監事会	1
■ 令和 8 年度 第 1 回 理事会	1
■ 農業農村整備の集い	2
■ 令和 9 年度 農業農村整備予算確保に関する要請活動	5
■ 水土里ネット静岡 令和 8 年度 臨時総会	7
■ 「小笠地域かんがい用水群」世界かんがい施設遺産に認定決定	8
■ 令和 8 年度 新人・若手職員研修会 & 水土里ネット静岡新規採用職員紹介	10
■ 令和 8 年度 土質調査研修レポート	12
■ 水土里ネット静岡 各種相談窓口のお知らせ	14
■ 第 12 回 静岡県 農村の魅力フォトコンテスト作品募集中	16
■ 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展のお知らせ	17
■ 行事予定（10 月～11 月）	17
■ 2027 年国際園芸博覧会（GREEN × EXPO2027）前売りチケット発売中	18



表紙写真

棚田日和（たなだびより）



撮影者 @spua_chiikimoriagetai

静岡県立農林環境専門職大学
公認サークル 地域盛り上げ隊

撮影場所 浜松市浜名区引佐町田畑
白檀（しらかし）の棚田

撮影時期 2024 年 9 月

ふじのくに美しく品格のある邑
～竜ヶ石山～ 西四村の里



第 10 回 静岡県 農村の魅力フォトコンテスト
「#しずおかむらたび夏 2024」入選作品

「全国棚田（千枚田）サミット」が浜松市で開催決定！ 令和 8 年 11 月 14 日（土）・15 日（日）

第 31 回サミットのテーマは「小さな棚田から日本を元気にー棚田は感動のステージ！つながりが奏でる地域の未来♪ー」。浜松市の 3 つの棚田（大栗安の棚田・久留女木の棚田・白檀の棚田）を実践モデルに全国の課題を共有し、新たな保全と地域づくりの可能性を探ります。



令和8年度 第1回 監事会



令和8年6月11日(木)、本会会議室において、「令和8年度 第1回 監事会」を開催しました。

今回は「令和8年度 監査計画について」をはじめとする全4議案について報告し、円滑かつ適正な運営を行うための確認・検討がなされました。

議 案

- | | |
|-------|---------------------|
| 議案第1号 | 令和8年度監査計画について |
| 議案第2号 | 令和7年度決算監査について |
| 議案第3号 | 令和7年度決算監査の報告について |
| 議案第4号 | 本会と理事との契約に関する事項について |

令和8年度 第1回 理事会



開会あいさつで、伊東会長は世界情勢の不安定化に伴う物価高騰が、農業分野を取り巻く経済環境にも影響が出ていることに触れたうえで、「農業農村整備事業・土地改良事業の環境が整い、環境に恵まれた中で農業経営していくためにも、状況の変化を嘆くのではなく、その変化にどのように対応していくのかについて、皆様と話し合う機会を持ちたい。」と呼びかけました。

令和8年6月24日(水)、静岡市産学交流センター ペガサート(静岡市)において、「令和8年度 第1回 理事会」を開催しました。

伊東会長をはじめ、副会長2名、理事7名、総括監事1名、監事1名の出席をいただきました。

引き続き伊東会長を議長とし、「令和7年度事業報告 及び 収支決算 並びに 財務諸表、財産目録について」をはじめとする全4議案が上程され、全て原案通り可決されました。



議 案

議案第 1 号 令和 7 年度事業報告 及び 収支決算 並びに財務諸表、財産目録について

議案第 2 号 令和 7 年度資金運用の経過及び結果報告について

議案第 3 号 令和 8 年度臨時総会招集について

議案第 4 号 令和 8 年度臨時総会提出議案について

農 業 農 村 整 備 の 集 い



土地改良の推進に向けた機運を高める
農業農村整備の集い が開催され、
『闘う土地改良』のスローガンの下、
土地改良予算の安定確保と制度拡充を
求める要請書が採択された。

令和 8 年 6 月 15 日（月）、シェーンバッ
ハ・サポー（東京都）において「農業農村
整備の集い」が開催されました。

会場には、多数の国会議員の臨席のも
と、全国から 1,200 名を超える土地改良
関係者が参集しました。

開会にあたり、全国水土里ネットの二
階俊博会長は、「昨年度を大幅に上回る土
地改良関係予算を確保できたのは、全国
の土地改良関係者の協力があったこそ。」

と参加者へ感謝を述べたのち、「予算を活用して、農業・農村の発展に積極的に取り組むとともに、『闘う土地改良』のスローガンの下、一致団結してさらなる発展に向けて闘い続けていこう。」と、参加者へ呼びかけました。

続いて、鈴木憲和農林水産大臣、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問をはじめとする来賓者から、祝辞が述べられました。

国際社会は地球規模の異常気象や、世界的な物価高騰などの問題に直面し、日本の農業・農村も、高齢化と農業者減少により、営農の継続や農地・農業用水の保全管理が困難な状況下におかれています。

今回の集いでは、土地改良事業に必要な予算の安定的な確保、『食料・農業・農村基本法』や『土地改良長期計画』に基づいた事業等の推進への支援の充実などについての要請書（案）が、水土里ネット奈良の菅谷義寛 常務理事によって朗読され、全会一致で採択されました。

締めくくりとして、水土里ネット栃木の石川房代事務局長他 4 名の女性職員の発声による「ガンバロウ三唱」で参加者全員の意思統一を図り、集いは閉会しました。



鈴木農林水産大臣



進藤全国水土里ネット会長会議顧問



要請文（抜粋）

全国土地改良事業団体連合会 都道府県土地改良事業団体連合会

- 一、 食料・農業・農村基本計画や土地改良長期計画に基づき初動 5 年間で農業の構造転換を集中的に実施するとともに、国土強靱化実施中期計画に基づいた取組を一層推し進めるため、農業・農村を支え、守り、我が国の食料安全保障の確保に欠かせない土地改良事業をスピード感を持って推進できるよう、別枠を含め、必要な予算総額をしっかりと確保すること。その際、地方公共団体の負担軽減のための一層の支援策を講じること。

- 二. 土地改良法の改正を受けて、制度の趣旨及び内容の十分な浸透を図ること。また、水土里ビジョンの作成を始めとする農地・農業用水等の地域資源を次世代につなぐとする土地改良区や土地改良事業団体連合会、市町村等の取組への支援や地方財政措置の充実を図ること。

- 三. 農業の構造転換を行い、国内の農業生産を増大させ食料自給力を確保するため、地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化、高収益作物の生産拡大、麦・大豆等の本作化、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化を促し生産性向上に資する大区画化、中山間地域におけるきめ細かな整備等の農地整備と情報通信環境の整備を推進すること。

- 四. 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めるとともに、農地復旧についての農家負担の軽減に配慮すること。併せて、農村地域の国土強靱化のため、基幹から末端に至るまでの農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を推進すること。

- 五. 自然的、社会的、経済的な情勢変化を踏まえ、高い公共性・公益性を有し、食料の安全保障の確保に貢献している土地改良施設の維持管理に対する支援を充実させること。

- 六. 農村地域を支えている多面的機能支払や中山間地域等直接支払について、活動組織の体制強化や支援範囲の拡大等を図るため、更なる制度の拡充及び必要な予算の確保を行うこと。

- 七. ICT、AI等を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進するとともに、中小規模の土地改良区を対象とした合併など、食料安全保障を支える土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。

- 八. 上記事項の推進に当たり、発注体制や施工業者の受注環境の整備等の事業の執行体制の充実を図るとともに、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。



令和9年度 農業農村整備事業予算確保を要請



根本 幸典 農林水産副大臣との面会



高橋 はるみ 財務大臣政務官

日本の食と暮らしを支える 「水と土」を未来へ

食料安全保障の確保や、農業の有する多面的機能の発揮に資する施策を推進継続するための、安定的な予算確保と支援を求める。



青山 健次 農村振興局次長

令和8年6月30日(火)、東京都内において、「令和9年度 農業農村整備事業予算編成」に対する要請活動を行いました。

要請活動には、井林辰憲衆議院議員と若林洋平参議院議員にご同席いただき、農林水産省並びに財務省、そして関係国会議員を訪問しました。



石川 英一 農村振興局整備部長

面会時には、要請書を手渡すとともに、静岡県内における農業農村整備の事業効果と、農業の礎である「水と土」を未来へ継承するための今後の展望について説明し、支援を求めました。

(要請内容については次のページへ⇒)

1 農業水利施設の機能保全対策の強化について

- ① 国営天竜川下流二期地区の令和 9 年度着工
- ② 連携管理保全計画（水土里ビジョン）による管理体制の強化
- ③ 多様な人々が参加・定着する日本型直接支払の拡充

農業水利施設の機能低下や老朽化を防ぐための国営事業の計画的な推進と、水土里ビジョン策定による管理体制の強化、および多様な人々が参加する地域共同活動を支えるための多面的機能支払等の制度拡充・予算確保。

2 国内外の多様な需要に対応する農地の基盤整備の推進について

- ① 労働生産性向上のための水田の大区画化
- ② 輸出茶の生産拡大に向けた茶園整備

効率的な水田農業の実現や裏作導入に向けた大区画化・汎用化等の推進と、輸出茶の需要増加に対応した茶園の改植・区画整理等の促進による、国内外の多様な需要に応える農業農村整備への支援。

3 災害リスクに対応した防災減災対策の推進について

- ① 気候変動により激甚化・頻発化する災害対策
- ② 地震・津波対策の推進による国土の強靱化

農業用ため池の地震・豪雨対策や排水機場の遠隔監視・操作システムの導入による農村地域の強靱化と、南海トラフ巨大地震等を想定した避難路整備や伊豆縦貫自動車道の発生土を活用した農地整備などの、国土強靱化と産業振興を両立する取組への支援および予算確保。

4 農業農村整備事業予算の確保について

- 食料・農業・農村基本計画や土地改良長期計画に基づき、初動 5 年間で集中的な農業の構造転換の実施と、国土強靱化実施中期計画に基づいた取組を一層推し進めるための、別枠を含めた必要な予算の確保と、地方財政措置など地方の負担軽減。

水土里ネット静岡 令和8年度 臨時総会



令和8年7月29日（水）、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」において、「令和8年度 臨時総会」を開催しました。今回は会員総数108名のうち、105名（本人出席39名、書面議決56名、委任出席10名）の出席を得ました。

会に先立ち、伊東会長は開会あいさつの中で、頻発する自然災害に対する土地改良施設の備えの重要性や、地域農業の経営安定化に向けた「水土里ビジョン」策定の必要性について触れました。また、6月に実施した国への予算要請活動を報告し、「今後は当初予算を中心とした予算編成へと大きく変わることが想定され、我々にとって重要な転換期となる。引き続き関係機関と連携を密にし、必要な予

算確保に向けた要請活動を行っていきたい」と、意気込みを述べました。

臨時総会は、議長に任命された都田上土地改良区の波多野 晃理事長による進行のもと、第1議案「令和7年度事業報告及び収支決算並びに財務諸表、財産目録の承認について」が上程され、原案通り可決されました。



都田上土地改良区 波多野 晃 理事長

議 案

議案第1号

令和7年度事業報告及び収支決算並びに財務諸表、財産目録の承認について



小笠地域かんがい用水群 世界かんがい施設遺産 に認定決定

令和8年8月、国際かんがい排水委員会（ICID）は、大井川右岸土地改良区が申請した「小笠地域かんがい用水群」を、世界かんがい施設遺産として新たに認定した。

世界かんがい施設遺産とは、『灌漑の歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、灌漑施設の適切な保全に資する』ことを目的に、歴史的・技術的・社会的価値のある農業水利施設を、国際的に認定する制度です。

「小笠地域かんがい用水群」は、大井川がなく干ばつ被害が多かった小笠地域において、農民たちの手により築かれた3つの用水路（加茂用水・十内垵・嶺田用水）と、7箇所のため池の計10施設からなる用水群を指します。

今回の新たな認定により、日本国内の登録数は60施設となり、静岡県内での認定は、「小笠地域かんがい用水群」で7施設目の快挙となります。

2026年10月には、フランスのマルセイユで認定式が行われ、申請者へ認定証と記念盾の授与が行われる予定です。

国際かんがい排水委員会 (ICID)とは？

国際かんがい排水委員会 (International Commission on Irrigation and Drainage, ICID) は、かんがい、排水、治水・河川改修分野に関する非政府の国際団体 (NGO) です。かんがい排水分野に特化した国際組織としては、世界最大を誇ります。

水資源の開発・管理にかかわる、科学的、技術的知見により、食料や繊維の供給を世界規模で強化することを目的として、1950年に設立されました (本部：インド ニューデリー)。

2024年1月時点で参加しているのは、82の国と地域です (日本は1951年に加盟)。加盟国はICID活動に関連する政府、科学技術団体、並びに関心がある個人等からなる国内委員会を組織して、それを通じてICIDの活動に参加しています。

またICIDは、かんがい排水に係る

技術・組織、行政や制度の情報交換ができる世界で唯一の組織のため、農業農村整備分野における日本の技術・知見を提供できる国際貢献の場でもあります。

世界かんがい施設遺産認定の ねらいとは？

ICIDの「世界かんがい施設遺産」制度が始まったのは2014年。認定された施設は、2025年10月時点で世界21ヶ国、総数200ヶ所に達しました。

認定制度の主要なねらいは、世界中の文明におけるかんがい歴史を辿り、その発展を理解することです。

ICIDは、当時の最先端の技術を代表し、数百年以上保存され、何世代にもわたって水の安全保障、食料安全保障、持続可能な農業用水管理のための重要な教訓を現代に伝えてきた施設を、世界かんがい施設遺産として認定しています。

- 【参考】 ■ 農林水産省Webサイト「ICID (国際かんがい排水委員会)」
■ YouTube 熊本市公式チャンネル「世界かんがい施設遺産サミットin Kumamoto ICID 会長ビデオレター (和訳テロップ)」【農業政策課】



大井川右岸土地改良区Webサイトで
「小笠地域かんがい用水群」の詳細資料が公開中

用水群を構成する施設の歴史と成り立ちが豊富な資料&動画で紹介されています。

URL <https://ooigawa-yousui.com/> 





令和8年度

新人・若手職員研修会 & 水土里ネット静岡 新規採用職員紹介



令和8年4月16日(木)、本会会議室にて、「令和8年度 新人・若手職員研修会」が開催されました。

本研修会は、県内の市町や土地改良区の新人・若手職員を対象としており、今年度は6名が参加しました。高校を卒業したばかりの方から中途採用で入会された方まで、参加者のバックグラウンドは様々でした。

講師には、今年度もアール人材開発合資会社の旗持玲子氏をお招きしました。丸1日をかけて行われた研修では、電話対応や名刺交換などの実践的なスキルのほか、社会人として「働く」ことへの考え方や、コミュニケーションの重要性について理解を深めることができました。

講義の中では、メジャーリーガーの大谷翔

平選手が高校時代に実践していた目標達成シート「マンダラチャート」も取り上げられ、モチベーションやビジョンを明確にする大切さを学べる充実した内容でした。

研修が進むにつれて、最初は少し緊張気味だった参加者の皆さんの表情もすっかり和らぎました。ハキハキとした態度で研修に励み、お昼には和やかに食事を共にするなど、活発にコミュニケーションをとる姿がとても印象的でした。

参加者の経歴は違えど、社会人としてのマナーや心構えに違いはありません。同じ地域の農業を支える仲間として、今回の研修での学びや交流を今後の業務にぜひ活かしていただければ幸いです。



・事業支援課・

かとう こはる

加藤 来春

・水土里情報

Q.1 本会に興味をもったきっかけは？

同じ高校の先輩が働いていると聞いたことをきっかけに本会について知り、インターシップを通じて仕事内容に惹かれたことで、興味をもちました。

Q.2 入職してみての感想は？

上司や先輩方が優しく丁寧に仕事を教えてくださるので、分からないところが聞きやすく、明るい雰囲気の中で安心して仕事に取り組んでいると感じます。

Q.3 趣味（マイブーム）や特技は？

最近の趣味は料理をすることです。
少しずつ作れるレパートリーを増やしながら、毎日楽しく作っています。

Q.4 今後チャレンジしたいことは？

今後は新しい業務にも積極的に挑戦し、多くの知識や技術を身につけて、自分にできることを一つずつ増やしていきたいです。

Q.5 会員の皆さまへひとこと

社会人になったばかりで分からないことが沢山ありますが、上司や先輩方の経験と知識を吸収し、一日でも早く皆様のお力になれるように努力してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。



・会員支援課・

にし の よしたろう

西野 芳太郎

・広報
・大区画化事務局
・水土里ビジョン策定

Q.1 本会に興味をもったきっかけは？

元々、中山間地域のお茶農家の出身です。大学院までの6年間農学（主に農業生産関係）を勉強してきたこともあり、農業や農村、自然環境に興味と関心がありました。

更に私の生まれ育った島田市には川口取水口や大井川水路橋、栃山頭首工など多くの関連施設があり、「水土里ネット静岡」は生活の中にある身近な存在でした。

そんな中、前職で農地法に関わる機会があり、農作物を栽培する前の環境に興味を抱いたのがきっかけです。

Q.2 入職してみての感想は？

職場の皆さんがとても優しく、大変仕事がしやすい職場だと感じます。

Q.3 趣味（マイブーム）や特技は？

現在の趣味は2人の息子と外で遊ぶことです。虫取りや溪流釣り等、毎週野山を駆け回っています。

Q.4 今後チャレンジしたいことは？

土地改良換地士や農業土木に関連する資格など業務に活かせる様々な資格取得にチャレンジしていきたいと思っています。

Q.5 会員の皆さまへひとこと

今までの知識や経験を活かせるところは活かせるように日々精進いたします。

まだまだ至らないところも多々あるかと存じますが、皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

現場を支える土質調査の重要性を学ぶ！ ～ 令和 8 年度 土質調査研修 レポート ～



令和 8 年 6 月 19 日（金）、水土里ネット静岡 事業支援課に所属する技術職員を対象に、株式会社 アイコ（AICO）様のご協力のもと、「令和 8 年度 土質調査研修」を実施しました。

本研修は、農業農村整備事業の基盤となる「土質」への理解を深めることを目的とし、試験設備の見学や土の締固め試験の体験を行いました。

■ 実体験で学ぶ「締固め試験」

土質調査についての基礎知識をレクチャーいただいた後、株式会社アイコ様の試験場で、土の含水比を変化させないように湿度や温度が厳密に管理された恒温室や、大小さまざまな試験機械を見学しました。

続いて、「突固めによる土の締固め試験」を実際に体験しました。この試験は、締固め土の乾燥密度と含水比の関係を調べるために実施するもので、段階的に含水比を変化させた試料をつくって測定を行います。

今回は「乾燥状態」・「最適含水比」・「飽和状態」の 3 種類の土を用いて試験を行いました。その結果、事前に最適含水比を想定して水分量を調整した土が最も重く、最適含水比の状態で最大乾燥密度が得られることを、身をもって確認することができました。

■ 農業農村整備事業の設計で「締固め試験」はどう活用されるのか？

農地造成などの農業農村整備事業において、土質調査（とりわけ締固め試験）の結果は、構造物等の安全性や耐久性に直結する重要な参考資料となります。具体的には、以下のように設計や施工に活用されています。

1. 現場の施工管理基準値への反映

土を締め固める主な目的は、土の強度、支持力、遮水性等を改善することです。締固め試験によって土の乾燥密度と含水比の関係を調べ、その試験結果を実際の施工現場における管理基準値に反映させます。

2. 降雨等による沈下リスクを考慮した施工計画

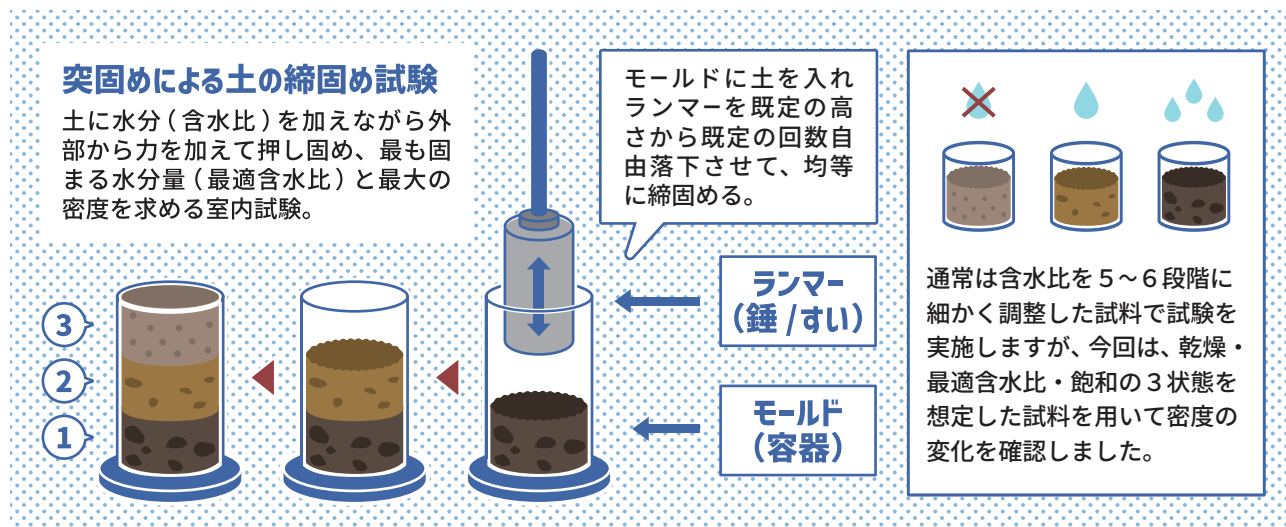
実は、締固め土の強度や支持力が最大となるのは「最適含水比よりも若干乾燥している状態」です。

しかし、その状態で完成させると、降雨などが原因で沈下してしまう恐れがあります。そのため、実際の施工現場では、沈下を防ぐために「最適含水比、または若干湿潤した状態」を目指して締固めが行われます。

3. 適切な試験の選択による確実な設計の実施

農地造成を行う際は、物理試験や力学試験を中心に、締固め試験や土の粘着力・せん断抵抗角（内部摩擦角）を把握する三軸圧縮試験などを実施することが望まれます。

基本設計の段階では、文献と現地調査のみで土質を判断しがちですが、実際の土質調査結果と一致しないことも多々あります。



また、設計の積算時に安易に安価な調査（試験）を選択してしまうと、試験仕様が異なり、設計の目的とする強度など、信頼度の高い試験結果が得られない場合があります。

そのため、目的に合った適切な試験を選択し、その結果をしっかりと設計に反映させることが極めて重要です。

■ おわりに

今回の研修を通して、普段の設計業務では見落としがちな土質の状態や、土質試験の結果が構造物の安全性に直結することを再認識しました。また、土質調査に対する知識不足が、安価な調査方法の選択につながっている現状と課題も知ることができました。

今後も土質に関する理解をさらに深め、今回の研修で得た知見を日々の農業農村整備事業の設計・施工管理に活かしてまいります。



株式会社 アイコ（AICO）

所在地 愛知県 豊田市 八草町 来姓 1250 TEL 0565-48-6048

「土と水」に特化した高度な専門技術力を誇る、建設コンサルタント。
基本試験から高度な特殊試験まで、試験結果の評価も含めて、各種土質調査、岩石試験等を幅広く取り扱っている。難易度が高い「ロックフィルダム」の設計や施工管理等からスタートした歴史があり、水理や地盤安定の分野に深い知見を備えている。





お困りごとお聞かせください



水土里ネット静岡 各種相談窓口

水土里ネット静岡では、会員のみなさんの困りごとを質問・相談できる窓口を設けています。
どんな内容でもお気軽にご相談ください。

01 土地改良法律相談窓口

土地所有者の所在不明や、相続人の不明など、土地改良区受益地内やほ場整備事業内における「財産管理」に関する問題や、近年増加傾向にある「賦課金の滞納処分」などに関するご相談を承ります。
内容に応じ、本会の顧問弁護士に相談を仲介いたします。



02 会計相談窓口

土地改良法の改正により令和4年度から貸借対照表の作成が義務化されました。専門家である税理士および会計指導員による「会計業務」などに関するご相談を承ります。

03 その他

- 土地改良区の賦課金について
- 定款・規約等について
- 土地改良区運営について
- 新規事業および事業実施について
- 土地改良施設の改修や補修について
- 過去の土地改良事業について

問い合わせ

水土里ネット静岡 会員支援課

TEL : 054-255-5151 FAX : 054-221-3581 E-mail : kaiin@sizdoren.jp

04 静岡県ため池サポートセンター

ため池に関するご相談は、
静岡県農地局農地保全課へ
お問い合わせください。

受付
時間

- ① 09:00 から 12:00
- ② 13:00 から 16:00

▶ 月～金（祝日・休日・年末年始除く）

事務局

静岡県農地局農地保全課

TEL : 054-221-2714 FAX : 054-221-2809
E-mail : nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

受託

水土里ネット静岡 会員支援課

TEL : 054-255-5151 FAX : 054-221-3581
E-mail : kaiin@sizdoren.jp



05 公共工事発注者支援

土木技術者の不足、「公共工事品確法」による発注事務の適切な実施、発注者責務の明確化等にお悩みの皆さまを、技術的側面から支援します。

業務区分	業 務 内 容
設計・積算補助	■ 設計図書（仕様書、図面の軽微な修正等）の作成 ■ 積算書の作成（積算、積算参考資料）
技術審査補助	■ 入札・契約方法の選定に関する助言 ■ 技術資料の審査業務（総合評価方式等）に関する助言等
監督補助	■ 工事の監督 ■ 工事の段階確認、施工体制の点検（発注者のチェックシートによる）
検査補助	■ 中間検査、出来形検査、一部完成検査、完成検査 ■ 工事 及び 委託業務の成績評定

▲ 農道・用排水路・ため池の整備工事等を想定しています。



水土里ネット静岡は
農業農村整備事業部門 における
県内唯一の 公共工事発注者支援機関※ です。

※ 令和8年3月「関東協議会管内農業農村整備事業発注者支援機関」の厳正な評価の下、発注関係事務を適切かつ公正な立場で継続して円滑に行うことができる者として認定されました。

問い合わせ

水土里ネット静岡 | 静岡県土地改良事業団体連合会

- 会員支援課（前島） TEL：054-255-5151 E-mail：kaiin@sizdoren.jp
- 東部事業所（前田、植梠） TEL：055-920-2269 E-mail：toubu@sizdoren.jp
- 中部事業所（山崎） TEL：054-286-9273 E-mail：shisetsu@sizdoren.jp
- 西部事業所（山下） TEL：0538-37-2316 E-mail：seibu@sizdoren.jp



第12回 静岡県 農村の魅力 フォトコンテスト

作品大募集



主催 静岡県

共催 静岡県土地改良事業団体連合会
ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合



応募期間 2026
R8年度

年4回開催

終了
しました

7.1 水 夏

9.30 水

10.1 木 秋

11.30 月

12.1 火 冬

2027 2.15 月



募集テーマは季節ごとに変化！
静岡県の個性豊かな農山村を
訪問してみませんか？



コンテストの詳細 &
静岡県内の農山村情報

「むらサポ」公式 Web サイト



コンテストに関する
問い合わせ（会員支援課）

水土里ネット静岡 Web サイト



「むらサポ」instagram公式アカウント※にて、「春の部」入選作品紹介中

※【公式】しずおか農山村サポーター「むらサポ」は、静岡県農地保全課が管理・運営するアカウントです。

未来へつなごう！ ふるさとの水土里（みどり） 子ども絵画展

「未来へつなごう！ふるさとの水土里（みどり）子ども絵画展」へのたくさんのご応募ありがとうございました。県内からは50点の力作が集まりました。

令和8年（2026）12月4日（金）～11日（金）にかけて、受賞作品が東京都美術館で展示されます。（7日（月）は休館日）

子ども達の目と感性を通して描かれた水土里が、全国から集まるこの機会に、是非お出かけください。

受賞発表は全国水土里ネットのホームページでもご案内します

<https://www.inakajin.or.jp/works/pr/kids-art> 



行事予定

日付	行 事 内 容	場 所
10月9日（金）	令和8年度 土地改良区運営基盤強化推進研修（実務研修）	静岡県産業経済会館
10月26日（月）	農業農村整備の集い	シェンバッハ・サボー（東京都）
10月27日（火）	全国水土里ネット女性の会 研修会・意見交換会	TKP 新橋汐留カンファレンス センター
11月13日（金）	ふじのくに水土里ネットつつじの会 総会・視察研修	浜松市内
11月17日（火） ～19日（木）	第48回 全国土地改良大会 奈良大会	奈良県コンベンションセンター 他

地球と。 咲きに行こう。

The Blooming Field of Planetary Citizens.

前売りチケット
販売中



公式マスコットキャラクター
トウクタウンク

©Expo 2027

前売りが断然、お得。
入場チケット販売開始
2026年3月19日(木)

前売りチケット	1日券	大人:4,900円	小人:1,400円
会期中販売チケット	1日券	大人:5,500円	小人:1,500円

開催期間：2027年3月19日(金)－9月26日(日)

開催地：神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）

チケット購入はこちらから

公式販売Webサイト、または旅行代理店や各種プレイガイドから購入できます。

2027 チケット

※価格は全て日本円・税込みです。
（紙チケットを購入する場合は、別途100円（税込み）をいただく予定です。）
※3歳以下の方は無料となります。
※前売りチケットの販売は2027年3月18日までとなります。



主 催：公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 <https://expo2027yokohama.or.jp/>



水土里ネット静岡 | 静岡県土地改良事業団体連合会

本 部	〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号	(TEL) 054-255-5151 (FAX) 054-221-3581
東部事業所	〒410-0055 沼津市高島本町1-3	(TEL) 055-920-2269 (FAX) 055-920-2192
中部事業所	〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20	(TEL) 054-286-9273 (FAX) 054-286-9274
西部事業所	〒438-0086 磐田市見付3599-4	(TEL) 0538-37-2316 (FAX) 0538-37-2403



<https://www.sizdoren.jp/>